

事務事業評価における総括

部 局 名	消防本部	記入責任者	小澤 幸雄
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>第４次実施計画期間中の消防本部の事業は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」「部内調整事務」を除くと、全 69 事業あります。そのうち評価対象となる政策的事業は、25 事業で、「S」評価は、20 事業です。全体的には、概ね、順調に事業を実施し目標の達成ができたと考えています。残りの 5 事業については、事業着手し成果は出ているものの目標値に達していない「A」評価が 2 事業、計画はあったものの事業費や実施時期などの調整により未着手となった「Z」評価が 3 事業となっています。「S」評価以外の事業は、すぐに成果が表れ難く継続性を要する事業や、実施時期の調整を図るなど庁内連携を進めることで成果の見込める事業と判断できますので、これらの事業においても継続的に取り組む必要があると考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「Z」評価とした警防救命課の消防水利整備事業、消防団車両等整備事業及び消防団活動施設整備事業については、関係課との事業スケジュールの調整や厳しい財政状況を踏まえたうえで、事業着手時期の先送りをしましたが、計画の修正や仕様の策定など事業着手に向けての準備を進めました。消防施設・消防車両などのハード整備は、消防力の強化に重要な施策と捉えていますので、今後も引き続き、効果的な整備ができるよう調整を進めます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>消防本部では、一部、目標に至らなかった事業はありますが、全体的に見て事業は順調に進んでいると評価しています。進捗が順調な事業は、引き続き、継続して成果を出していくとともに、目標に至らなかった事業については、必要に応じて事務改善や関係課かいとの調整を行いながら円滑に事業が実施できるよう取り組みます。</p> <p>また、今後、寒川町との消防の広域化が決定し消防本部の統合に向けて準備が必要なることも踏まえ、組織や事業スケジュールなどに関する細かな調整が必要となりますので、関係課かいとの連携を密に円滑な事業着手に努めるとともに、安全で安心なまちづくりを担う部局として、消防体制の充実強化と市民サービスの向上が図れるよう政策・施策目標の達成に向けて業務を進めます。</p>			